

| | | | | | |
|----------------|--|---------|--|--------------|--|
| ESG Report TOP | | ESG情報編 | | SDGsと街づくり編 | |
| トップコミットメント | | ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | |
| 価値づくりのあゆみ | | 環境 | | TOPICS | |
| Environment | | 社会 | | Governance | |
| Society | | ガバナンス | | ESG情報一覧表 | |
| SDGsの関わり | | 第三者保証 | | ESG情報一覧表 | |

三井不動産グループとSDGsの関わり



三井不動産グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています


2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」で193ヶ国の全会一致により「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。このアジェンダは、2030年までに、市民や行政、企業等世界中のすべての人が一丸となって、持続可能な発展を実現するための重要な指針であり、17の目標と169のターゲットからなる「SDGs（Sustainable Development Goals）」を掲げています。

三井不動産グループは、SDGsと関連する事業プロジェクト、およびESGのさまざまな取り組みを行っています。SDGsの17の目標と169のターゲットとの関わりは、下表のとおりです。当社グループは、「」マークの理念のもとESG課題に取り組み、持続可能な社会の実現をめざすことで、SDGsの達成に貢献していきたいと考えています。

| SDGsの目標 | 三井不動産グループの取り組み | 関連ターゲット |
|---|---|---|
| <p>あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p> | <ul style="list-style-type: none"> NPO法人日本救援衣料センターを通じた衣料品寄贈による海外支援活動「&EARTH 衣料支援プロジェクト～あなたの服で世界に笑顔を～」を実施 社会的弱者（女性、子ども、高齢者、障がい者等）を意識した街づくりやコミュニティ開発 | <p>1.1 2030年までに、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。</p> <p>1.2 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。</p> <p>1.4 2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、すべての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。</p> |
| <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p> | <ul style="list-style-type: none"> 認定NPO法人が運営するフードバンクへ災害備蓄品を寄付 | <p>2.3 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。</p> |
| <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p> | <ul style="list-style-type: none"> バリアフリーや地域コミュニティの構築による社会的弱者に優しい街づくり ライフサイエンス分野における新たな産業の創造を支援 健康的な住居（スマートウェルネス住宅）の普及を推進 街づくりにおける、安全なインフラ（道路など）の整備 「ザ・コーポレートゲームス 東京」の共同主催 | <p>3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。</p> <p>3.6 2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。</p> |

| SDGsの目標 | 三井不動産グループの取り組み | 関連ターゲット |
|---|---|---|
|  <p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p> | <ul style="list-style-type: none"> 海外からの訓練生受入、能力開発機会の提供 人権や男女平等など持続可能な開発に関連する従業員教育を実施 | <p>4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。</p> <p>4.5 2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子どもなど、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。</p> <p>4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。</p> |
|  <p>5 ジェンダー平等を實現しよう</p> <p>ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児のエンパワメントを行う</p> | <ul style="list-style-type: none"> 事業所内保育所を設置し、育児期にも勤務可能な環境を整備 多様性と機会均等（男女同一賃金を含む）を重視し、女性によるリーダーシップを促進 ママ世代に優しい施設づくり 女性用トイレの増設など、女性の働きやすい環境づくり | <p>5.1 あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。</p> <p>5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。</p> |
|  <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p> | <ul style="list-style-type: none"> 雨水・中水の利用を推進するなどの水の効率的利用と地域社会への影響緩和 施設や住宅に節水機器を導入 東京都水道局と協働した水源林管理 | <p>6.1 2030年までに、すべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ平等なアクセスを達成する。</p> <p>6.2 2030年までに、すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女子、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を向ける。</p> |
|  <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p> | <ul style="list-style-type: none"> 電気自動車やプラグインハイブリッド自動車用充電器の設置を推進 メガソーラー事業等によるエネルギーの供給の推進 風力発電・バイオマス発電の導入 | <p>7.1 2030年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。</p> |
|  <p>8 働きがいも経済成長も</p> <p>包摂的かつ持続可能な経済成長およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する</p> | <ul style="list-style-type: none"> 働く人のモチベーションを上げるオフィスや施設的环境づくり（働く、集う、憩う、遊ぶ） 「ワークスタイリング」の提供による働き方改革の実施 「31VENTURES」におけるパートナーシップによるベンチャー企業等の育成促進 地域開発による雇用の創出や観光業の促進 | <p>8.1 各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を持続させる。特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。</p> <p>8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。</p> <p>8.3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。</p> <p>8.9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。</p> |
|  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る</p> | <ul style="list-style-type: none"> 街づくりや開発プロジェクトを通じたインフラを整備 日本橋にライフサイエンスの技術を集約し、創薬分野で新産業の創造を促進 「柏の葉」開発における公・民・学連携の街づくりを通じたイノベーションの推進 | <p>9.1 すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。</p> <p>9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。</p> |
|  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> <p>各国内および各国間の不平等を是正する</p> | <ul style="list-style-type: none"> 経済的状況を含む差別の撤廃 国内外における多様性と機会均等の確保 | <p>10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。</p> |

| SDGsの目標 | 三井不動産グループの取り組み | 関連ターゲット |
|---|--|---|
|  <p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市および人間居住を実現する</p> | <ul style="list-style-type: none"> 「経年優化」にもとづく持続可能な街と住まいの実現 健康を保つスマートウェルネス住宅の普及を推進 再生可能エネルギーやICT活用による持続可能な地域づくり 都市における生物生息環境の保全・再生と創造 「残しながら、蘇らせながら、創っていく」というコンセプトによる日本橋再開発 地域特有の「過去・現在・未来」を織り込んだホテルづくり 自然災害に強い住宅やビル、施設の建築 帰宅困難者受け入れ態勢を整えた、常設危機管理センターの設置 | <p>11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。</p> <p>11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靱さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。</p> |
|  <p>持続可能な生産消費形態を確保する</p> | <ul style="list-style-type: none"> 省資源化および廃棄物の適正管理と削減 古紙リサイクル・ループシステムの構築 使用済み蛍光灯、乾電池のリサイクルシステムの構築 リサイクル・ループ（コーヒーかすを堆肥化、育てた野菜を利用）の実施 建物の長寿化を促進することによる、スクラップ&ビルドの抑制 PCB廃棄物の適正な保管・管理と処理 地産地消の取り組み | <p>12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。</p> <p>12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。</p> <p>12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。</p> |
|  <p>気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p> | <ul style="list-style-type: none"> 東京都「優良特定地球温暖化対策事業所」の認定・更新 温室効果ガスの排出削減活動の実施 BEMS（Building Energy Management System）等によるエネルギー管理 気候変動に関する従業員教育の実施 ローカーボンモデル都市の開発 社用車のエコカーへの切り替え | <p>13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。</p> |
|  <p>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p> | <ul style="list-style-type: none"> 水質汚濁の防止 海洋生物の生息環境の再生と創造 水環境の保全 温室効果ガス（CO₂）の排出削減による海洋の酸性化の最小化 | <p>14.2 2020年までに、海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靱性（レジリエンス）の強化などによる持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う。</p> |
|  <p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復および生物多様性の損失を阻止する</p> | <ul style="list-style-type: none"> 陸域生物の生息環境の再生と創造 北海道での約5,000haのグループ保有林の保全・活用 持続可能な森林経営（森林管理認証SGEC）取得 開発における既存樹木の保全 | <p>15.1 2020年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。</p> <p>15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。</p> |
|  <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p> | <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスの維持 職場での暴力やハラスメントの防止 反社会勢力の排除 贈収賄禁止の徹底 ガバナンスの維持・強化 情報公開の実施 包括的な意思決定の実施 ステークホルダーエンゲージメントの推進 | <p>16.1 あらゆる場所において、すべての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。</p> <p>16.4 2030年までに、違法な資金及び武器の取引を大幅に減少させ、奪われた財産の回復及び返還を強化し、あらゆる形態の組織犯罪を根絶する。</p> <p>16.5 あらゆる形態の汚職や贈賄を大幅に減少させる。</p> <p>16.7 あらゆるレベルにおいて、対症的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。</p> |

| SDGsの目標 | 三井不動産グループの取り組み | 関連ターゲット |
|--|---|---|
|  <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p> <p>持続可能な開発実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p> | <ul style="list-style-type: none"> • パートナシップによるベンチャー企業等の育成促進 • 従業員の教育および能力開発 • 海外からの訓練生を受け入れ • SDGs未来都市である北海道下川町との「持続可能な地域社会創造に係る包括連携に関する協定書」締結する | <p>17.9 すべての持続可能な開発目標を実施するための国家計画を支援するべく、南北協力、南南協力及び三角協力などを通じて、開発途上国における効果的かつ的をばった能力構築の実施に対する国際的な支援を強化する。</p> |

※「SDGsの目標」の記載文言は、GRI(グローバル・レポーティング・イニシアチブ)、国連グローバル・コンパクトおよびWBCSD(持続可能な開発のための世界経済人会議)が発行する「SDG Compass」日本語翻訳版に準じています。

※関連ターゲットの記載文言は、国連広報センターのホームページに開示する「持続可能な開発のための2030アジェンダ(日本語)」に記載される169のターゲットに準じています。

※ここに記載する「三井不動産グループの取り組み」で、複数項目の「SDGsの目標」の達成に貢献する場合、取り組みによる貢献が主となる欄に記載しています。

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[Cookie\(クッキー\)およびアクセスログについて](#)

[サイトのご利用上の注意](#)

© 2020 Mitsui Fudosan Co., Ltd.

| | | | | | |
|-------------------|---------------|---------------------|----------|--------------|--|
| ESG Report TOP | | ESG情報編 | | SDGsと街づくり編 | |
| トップコミットメント | | ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | |
| 価値づくりのあゆみ | | | | | |
| 環境 Environment | 社会 Society | ガバナンス Governance | TOPICS | | |
| | | 第三者保証 | SDGsの関わり | ESG情報一覧表 | |

三井不動産グループの価値づくりのあゆみ



三井不動産グループは創業以来、「街づくりを通じた価値づくり」に一貫して取り組んできました。つねに社会と環境との共生に配慮しながら、人々の健やかな暮らしを支えてきました。ここに三井不動産が永年取り組んできた価値づくりのあゆみと、未来に向けて取り組んでいくこれからのビジョンをご紹介します。

| | | | | | |
|-----------------------|--------------|-----------------------|--------------|-----------------------|--------------|
| &History 01 | 1673 ~ 1986年 | &History 02 | 1995 ~ 2007年 | &History 03 | 2012 ~ 2019年 |
|-----------------------|--------------|-----------------------|--------------|-----------------------|--------------|

つねにニーズの一步先を見据えた街を

時代の変化を先取りした街づくりで、新しいライフスタイルを創出してきました。

1673



江戸時代の日本橋「越後屋」

「進取の気性」と「顧客志向」

～三井高利「越後屋」創業～

今から約340年前、三井高利が江戸日本橋に呉服店「越後屋」を創業。「現金安売り掛け値なし」という画期的な商法で飛躍的に発展しました。そうした「進取の気性」と「顧客志向」を三井不動産グループは受け継いでいます。「越後屋」はその後、事業の幅を広げ「三井合名会社」となりました。

1929



竣工当時の「三井本館」(東京都中央区)

震災の2倍の地震でも壊れないものを

～復興のシンボル「三井本館」～

関東大震災の約6年後、1929年に「三井本館」は竣工しました。「震災の2倍の地震が来ても壊れないものを」という号令のもと、誕生したモダンなオフィスビルは、「荒廃からの復興のシンボル」として人々に希望とエネルギーを与えました。ここに私たちがめざす「安全・安心」のルーツがあります。

1941



三井不動産創立

1909年に設立された三井合名会社の所有不動産を管理する「不動産課」が分離独立し、1941年、三井不動産が創立されました。それ以降、三井不動産は日本の新しい国づくりに貢献するという使命感とともに、街づくりを通じた世の中への貢献を続けてきました。



創立当時の社内の様子

1950~



京葉臨海地区

海を大地に変える

～京葉臨海地区の埋立事業～

1950年代後半、新たな住宅地や生産拠点を求める社会のニーズに応え、東京湾に面した千葉県臨海部の埋立事業に取り組みました。「土地を探すのではなく、つくる」という発想の転換で、大規模コンビナートや企業団地の形成に寄与。やがてこのエリアには新しい住宅やオフィスなども誕生し、今では多くの方が暮らし、働き、訪れる拠点となっています。

1960



開発中の東京ディズニーランド
※事業主体：株式会社オリエンタルランド@ディズニー

東京ディズニーランド※のオープンを支援

1960年、東京ディズニーランドの運営会社である（株）オリエンタルランドの設立に携わりました。その後、同社はウォルト・ディズニー社との交渉等を行い、1983年、ついに東京ディズニーランドがオープン。今まで国境を越えたことのなかったディズニーランドが、長い準備期間を経て、日本の地で新しいエンターテインメントの幕を開いたのです。

1968



竣工当時の「霞が関ビルディング」（東京都千代田区）

超高層が可能にした都心の広場空間

～「霞が関ビルディング」～

ビルを超高層化することで、足元の敷地に緑豊かなオープンスペースを創出する。日本の超高層時代を切り開いた「霞が関ビルディング」は、人間性の回復や社会との関わりを視野に入れた街づくり「都市再生」の先駆的な試みでした。

1971

1980



「三田綱町パークマンション」（東京都港区）

日本の住宅に新たな発想を

～「三田綱町パークマンション」と「サンシティ」～

「霞が関ビルディング」に続き、わが国初の高層マンション「三田綱町パークマンション」では住環境における新たな価値創造に挑戦。また分譲マンション「サンシティ」では、「経年優化」の思想が生まれました。「木々が育つように、命が集い、人と人とのつながりが増える街」をめざして、入居者などが約5万本の樹木を植樹。現在では里山のような森に育っています。この「経年優化」という思想は、現在も私たちの街づくりの中に生きています。



森に囲まれた現在の「サンシティ」（東京都板橋区）

1981



オープン当時の「ららぽーとTOKYO-BAY」（千葉県船橋市）

新しいライフスタイルの創造

～三井ショッピングパーク「ららぽーとTOKYO-BAY」～

「週末をショッピングセンターで過ごす」という新たなライフスタイルを生み出した「ららぽーとTOKYO-BAY」。「ららぽーと」は、商業施設の枠を超えた「地域コミュニティの核」として、街づくりに重要な役割を担っています。

1984



現在の「ハレクラニ」(ハワイ・オアフ島)

グローバルへの展開

～ホテル「ハレクラニ」～

グループとして世界各地で事業を展開する中、1984年には、米国三井不動産の子会社ハレクラニコーポレーションを設立。ハワイの老舗ホテル「ハレクラニ」を全面的に建て替えてオープンし、以後、直接運営を行っています。

1986



「大川端リバーシティ21」(東京都中央区)

都心の抱える課題の解決へ

～「大川端リバーシティ21」～

地価高騰や定住人口の減少など、都心の抱える問題の解決をめざした官民一体のプロジェクト「大川端リバーシティ21」。住宅・商業施設・オフィスなど多様な都市機能と豊かな自然が調和した街づくりは、ウォーターフロント開発の先進モデルとなりました。

&History 02 >>

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[Cookie（クッキー）およびアクセスログについて](#)

[サイトのご利用上の注意](#)

© 2020 Mitsui Fudosan Co., Ltd.

| | | | | | |
|-------------------|---------------|---------------------|----------|--------------|--|
| ESG Report TOP | | ESG情報編 | | SDGsと街づくり編 | |
| トップコミットメント | | ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | |
| 価値づくりのあゆみ | | | | | |
| 環境 Environment | 社会 Society | ガバナンス Governance | TOPICS | | |
| | | 第三者保証 | SDGsの関わり | ESG情報一覧表 | |

三井不動産グループの価値づくりのあゆみ



三井不動産グループは創業以来、「街づくりを通じた価値づくり」に一貫して取り組んできました。つねに社会と環境との共生に配慮しながら、人々の健やかな暮らしを支えてきました。ここに三井不動産が永年取り組んできた価値づくりのあゆみと、未来に向けて取り組んでいくこれからのビジョンをご紹介します。

| | | | | | |
|----------------|---------------|----------------|---------------|----------------|---------------|
| &History 01 | 1673 ~ 1986 年 | &History 02 | 1995 ~ 2007 年 | &History 03 | 2012 ~ 2019 年 |
|----------------|---------------|----------------|---------------|----------------|---------------|

歴史や文化と調和しながら新しい価値を

地域の自然環境や文化を残しながら機能を集積した最先端の街へと再生してきました。

1995



「三井アウトレットパーク大阪鶴見」(大阪市鶴見区)

日本初のアウトレットモール開発

～「三井アウトレットパーク大阪鶴見」～

1980年代にアメリカで生まれたアウトレットモールを日本で初めて実現。新しい取り組みにも果敢にチャレンジし、社会に新たな価値を提供する—「三井アウトレットパーク」は、そんな三井不動産グループの姿勢を体現しています。

2001



日本初、不動産の証券化

バブル崩壊後、不動産業界に新たなビジネスモデルが求められる中で、三井不動産は不動産の証券化を推進しました。「日本ビルファンド投資法人」を設立して、東京証券取引所の不動産投資信託証券市場（J-REIT）へ上場。街づくりを支える資金調達への新たな道を開きました。



「COREDO室町1」「COREDO室町3」(東京都中央区)

残しながら、蘇らせながら、創っていく

～日本橋再生計画～

五街道の起点である日本橋を中心に、歴史的な建築物やさまざまな老舗が軒を連ねる伝統の街。日本橋は、三井グループ発祥の地であり、三井不動産の本拠地でもあります。この街の活性化や新たな魅力の創造に向け、官・民・地元一体で進めているのが「日本橋再生計画」です。「残しながら、蘇らせながら、創っていく」というコンセプトのもと、街区の再開発といった「モノづくり」(ハード面)と、コミュニティ活動やイベントなどの「コトづくり」(ソフト面)の両面に取り組んでいます。「COREDO日本橋」を開業した2004年から本格的にスタートした「日本橋再生計画」は、2014年秋、新たな「地域コミュニティの核」となる「福德神社」の再生をもって、第2ステージへと歩を進めました。これからも、斬新で個性的な街づくりを通じて日本橋ににぎわいを呼び、東京の国際競争力強化に貢献したいと考えています。

残しながら

伝統文化や歴史的建造物、地域コミュニティなどと共生・共存し、未来へ残すことが、私たちの使命だと考えています。



重要文化財でもある「三井本館」との調和を図った景観づくり



多数の美術品を収蔵する「三井記念美術館」

蘇らせながら

歴史に学び、先人の知恵を借りることで、失われた街の機能や人々のにぎわいなどを蘇らせる取り組みを行っています。



千年以上の歴史を持つ「福德神社」の社殿再建に協力



江戸時代の涼の取り方を現代風にアレンジしたイベント「ECO EDO 日本橋」

創っていく

歴史や文化を大切にしながら、未来を見据え、時代が求める「価値創造」を行っていく。日本橋再生から日本再生をめざします。



街を活性化するさまざまなイベントを実施



外国人コンシェルジュも常駐する「日本橋案内所」

2007



「東京ミッドタウン」(東京都港区)

自然環境や地域社会と共生・共存する街 「Diversity」「On the Green」

～「東京ミッドタウン」～

三井不動産グループの街づくりの集大成の1つともいえるのが、2007年に開業した「東京ミッドタウン」です。旧防衛庁時代の樹木を受け継いだ広大な緑地に、オフィス・商業施設・住宅・ホテルなど多様な都市機能が融合。日本の価値・感性を伝えるデザインやアート、地域コミュニティの活性化につながる四季折々のイベントなど、人々が集う中から常に新しい何かを生み出し続けています。



開発前の敷地から移植した既存樹木



開発面積の約40%が緑あふれるオープンスペース



先進的なデザインを発信する
「21_21 DESIGN SIGHT」



広大な緑の上で催されるさまざまなイベント

◀ &History 01

&History 03 ▶

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[Cookie（クッキー）およびアクセスログについて](#)

[サイトのご利用上の注意](#)

© 2020 Mitsui Fudosan Co., Ltd.

| | | | | | |
|-------------------|---------------|---------------------|----------|--------------|--|
| ESG Report TOP | | ESG情報編 | | SDGsと街づくり編 | |
| トップコミットメント | | ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | |
| 価値づくりのあゆみ | | | | | |
| 環境 Environment | 社会 Society | ガバナンス Governance | TOPICS | | |
| | | 第三者保証 | SDGsの関わり | ESG情報一覧表 | |

三井不動産グループの価値づくりのあゆみ



三井不動産グループは創業以来、「街づくりを通じた価値づくり」に一貫して取り組んできました。つねに社会と環境との共生に配慮しながら、人々の健やかな暮らしを支えてきました。ここに三井不動産が永年取り組んできた価値づくりのあゆみと、未来に向けて取り組んでいくこれからのビジョンをご紹介します。

| | | | | | |
|----------------|---------------|----------------|---------------|----------------|---------------|
| &History 01 | 1673 ~ 1986 年 | &History 02 | 1995 ~ 2007 年 | &History 03 | 2012 ~ 2019 年 |
|----------------|---------------|----------------|---------------|----------------|---------------|

持続可能な社会の実現に向けて新たな未来を

そして今、新しいビジョンを掲げ、人の可能性が広がる超スマートな街づくりに挑戦します。

2012



「柏の葉スマートシティ」(千葉県柏市)

国家的課題の解決に挑むスマートシティの実現へ

～「柏の葉スマートシティ」～

公・民・学連携のもと、最先端の街づくりに取り組んでいる「柏の葉スマートシティ」(千葉県柏市)。住宅、オフィス、商業施設、ホテル・ホール、国際交流施設などが集積する、日本初の複合開発型スマートシティです。「環境共生」「健康長寿」「新産業創造」の3つをテーマに、「世界の未来像」を具現化し、次世代につながる暮らしと社会づくりを推進。世界が直面する課題の解決を図る先進的な街づくりのモデルを、国内外に展開していきます。



環境共生都市

街全体でエネルギー利用の最適化を図ることにより、環境・エネルギー問題に応え、災害時にもライフラインを確保。世界最先端の技術で、地球環境と共生する街を実現します。



地域のエネルギーを見守る「柏の葉スマートセンター」



「ららぽーと柏の葉」屋上の太陽光パネル

健康長寿都市

自治体と連携した健康事業、実証実験のモデルタウンなどの取り組みを通じて、超高齢化社会に対応した街、子どもからお年寄りまで誰もが健康やかに暮らせる街をめざしています。



健康づくり拠点まちの健康研究所「あ・し・た」



独自の健康増進プログラムも提供

新産業創造都市

新ビジネスや起業家を支援するインキュベーション施設をはじめ、大学・研究機関など知の拠点が集積。日本に新しい活力をもたらす新産業の芽を育て、サポートしています。



イノベーションを生み出す拠点「KOIL」
(柏の葉オープンイノベーションラボ)



国際ビジネスコンテストも開催

三井不動産グループがめざすスマートシティ ～3つのコンセプト～

三井不動産グループでは、「柏の葉」のほかにも、「日本橋」（東京都中央区）、「日比谷」（東京都千代田区）、「横浜」（神奈川県横浜市）などでスマートシティの取り組みを進めています。そこでは、エネルギーのスマート化はもちろんのこと、「環境共生」「安全・安心」「健康長寿」「産業振興」といった人類が直面する課題に挑戦し解決を図り、人が主役の成長し続ける街、「経年優化」の街づくりをめざしています。

1 人類が直面する課題の解決に挑戦する街

- 解決すべき課題：エネルギー、環境共生、安全・安心、健康長寿、産業振興など

2 人が主役（需要者視点）「賢く働く、賢く暮らす」

- 「Green（省エネ、環境配慮）& Resilient（強靭さ）」を実現
- 技術が創造する価値を、顧客が実感できる街

2012



MFLP茨木（大阪府茨木市）※2017年竣工



MFLP稲沢（愛知県稲沢市）※2017年竣工

2015



3 複合プレミアムとタウンマネジメントにより成長し続ける街

- 用途の複合によるシナジーを生かし、タウンマネジメントでサステイナブルに付加価値を向上

地域貢献や労働環境向上に取り組む先進の物流施設

～「三井不動産ロジスティクスパーク（MFLP）」～

3PL(サードパーティロジスティクス)やEコマースの成長を背景に多様化する物流施設へのニーズに応じて開発を進めている先進的な物流施設。これまでに全国で33棟を展開しています。（2018年8月末時点）物流の効率化にとどまらず、緑地空間の確保や認証保育園の設置、入居企業による雇用の創出や建築工事における地元業者の採用など、地域貢献のための取り組みを実施。また、カフェテリアなど従業員向け共用部の充実、人材サービス会社との連携による従業員採用のサポート、ららぽーとの従業員限定割引など、働く環境の向上による雇用確保に取り組んでいます。

ともに、つなぐ。
ともに、うみだす。



三井不動産株式会社が「ゴールド街づくりパートナー」に

～東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて～

三井不動産株式会社は、（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と「東京2020 ゴールドパートナー」契約を締結。不動産開発における「ゴールド街づくりパートナー」として日本の魅力を広く発信し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に貢献していきます。

2018



「東京ミッドタウン日比谷」(東京都千代田区)



都市と公園が融合したランドスケープ

街の個性を活かしながら未来志向の体験や価値を創造

～「東京ミッドタウン日比谷」～

2018年3月29日、「芸術文化・エンターテインメントの街」として長い歴史をもつ東京都・日比谷に「東京ミッドタウン日比谷」がグランドオープンしました。オフィスやショップ、レストラン、シネマコンプレックスに加えて、新産業の創出を支援するビジネス連携拠点を設けるなど、世界中のさまざまな文化・感性・才能の集結・交流を促進する複合都市です。日比谷という街の個性と歴史を活かしながら、訪れる人々に上質な時間を提供し、「未来志向の新たな経験や価値の創造」というビジョンの実現をめざします。


TOKYO MIDTOWN
HIBIYA

2019

◀ &History 02

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[Cookie（クッキー）およびアクセスログについて](#)

[サイトのご利用上の注意](#)

© 2020 Mitsui Fudosan Co., Ltd.

| | | | | | |
|-------------------|---------------|---------------------|--------|--------------|--|
| ESG Report TOP | | ESG情報編 | | SDGsと街づくり編 | |
| トップコミットメント | | ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | |
| ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | | 価値づくりのあゆみ | |
| 環境 Environment | 社会 Society | ガバナンス Governance | TOPICS | | |
| 第三者保証 | | SDGsの関わり | | ESG情報一覧表 | |



多様な人々の賑わいを創出するミクストユースの
物件開発を体現し、都市防災力と環境性能を強化

| | | | |
|--------------------------|------------------|----------------------|--------------------------|
| 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 8 働きがいも 経済成長も | 11 住み続けられる まちづくりを | 17 パートナーシップで 目標を達成しよう |
| | | | |



▶ 「日本橋室町三井タワー」 (東京都中央区)

「日本橋室町三井タワー」は、中央通り・江戸通りの角に位置し、神田・東京駅周辺エリアと日本橋をつなぐ日本橋エリアの新たな拠点となります。様々な用途に利用できるホール&カンファレンス、豊かな緑あふれる潤いのランドスケープと大屋根を配した広場空間を備え、商業エリアには「誠品生活日本橋」など日本初出店を含む31店舗が出店し、施設としての複合性だけでなくソフトの付加価値により、多様な人々の賑わいを創出するミクストユースの物件開発を体現します。

さらに、本物件内にエネルギープラントを設置し、日本初となる既存ビルを含む日本橋室町周辺地域に電気と熱を安定供給する「日本橋スマートエネルギープロジェクト」を開始しています。非常時にもエネルギー供給が可能なエネルギーレジリエンス(※)向上および省エネ・省CO₂を達成する地球環境に優しい街づくりを実現し、ESG課題の解決に向けて、「都心型スマートシティ」を推進します。

※エネルギーレジリエンス：エネルギー供給網の強靱化



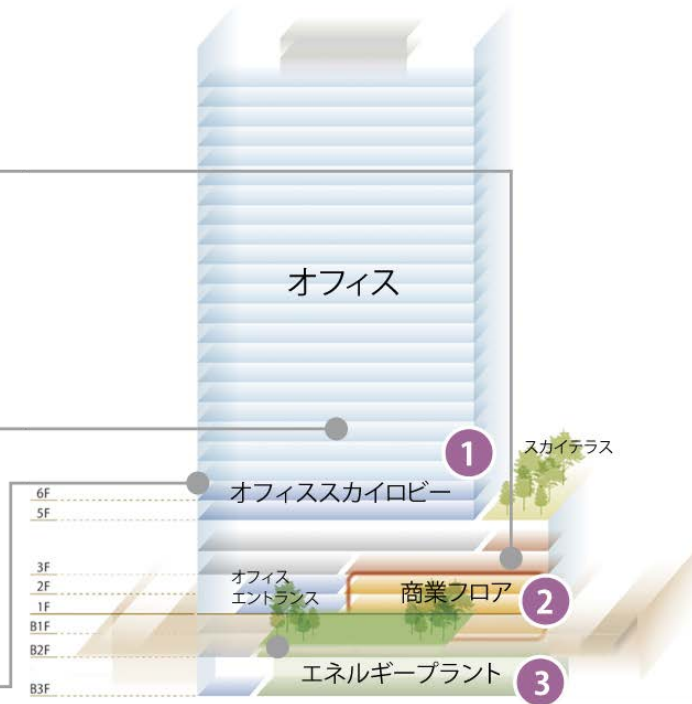
3階「室町三井ホール&カンファレンス」
約375㎡のメインホールと
3つのカンファレンス



5~25階「オフィスフロア」



5~6階「オフィススカイロビー」



① オフィススカイロビー

mot.

多様な働き方を実現するテナント企業向け
会員制施設・サービスの拡充

Mitsui Office for Tomorrow
三井のオフィス for Tomorrow

「働く場」としてだけでなく、「充実したビジネスライフ実現の場」として、より豊かに進化したオフィスを創造することを目指し、5階~6階の共用スペースにてテナント企業向け会員制施設・サービス「mot. 三井のオフィス for Tomorrow / Mitsui Office for Tomorrow」を提供します。



▶ 「ラウンジスペース」イメージ



▶ 「カンファレンスルームホワイエ」イメージ

② 商業フロア

COREDO 室町テラス

「誠品生活日本橋」など日本初出店を含む31店舗が集結。
「COREDO室町テラス」2019年9月グランドオープン

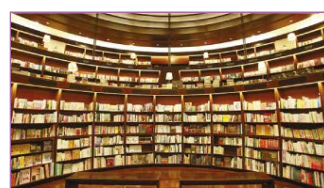
歴史と伝統を持つ日本橋で、「『価値ある時間』を、過ごす場所。」をコンセプトに、お客さまに新たな日本橋体験を提供します。「誠品生活日本橋」など日本初出店2店舗、関東初出店5店舗、商業施設初出店10店舗、新業態10店舗を含む、国内外一流の「食」やこだわりの「モノ」「コト」を提供する31店舗が出店します。



▶ 地下1階「商業施設」イメージ 駅直結のライブ感溢れる飲食フロア



▶ 1階「商業施設」イメージ 広場から賑わいにつながる憩いと集いのフロア



▶ 2階「誠品生活日本橋」イメージ

誠品生活日本橋
eslite spectrum nibonbashi

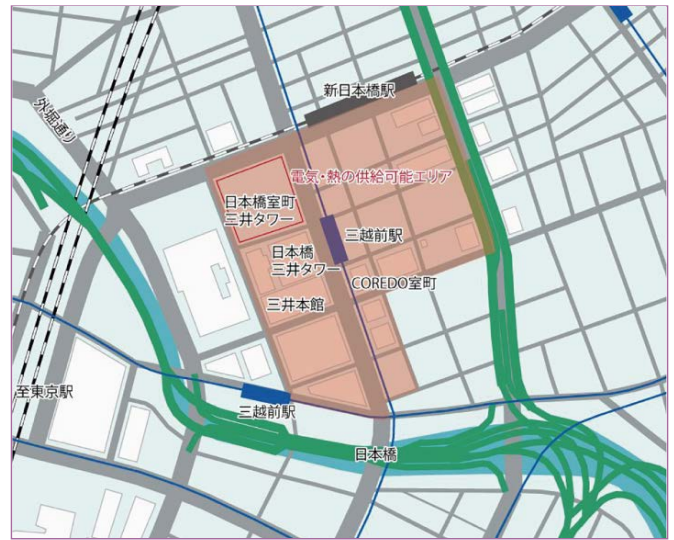
▶ 「くらしと読書のカルチャー・ワンダーランド」として創造的で多彩な文化情報を発信

③ エネルギープラント



「日本橋スマートエネルギープロジェクト」で日本橋のエネルギーを街ごとリニューアルし、「都心型スマートシティ」を推進

当社と東京ガス株式会社が連携し、本物件内にエネルギープラントを設置し、周辺ビル・商業施設に向けて平常時、非常時ともにエネルギー供給を行う、日本初となるエネルギーネットワークを構築しました。災害時の信頼性が高い中圧ガス導管を活用して発電することで、安定的なエネルギー供給を行い、面的なエネルギーレジリエンスを向上させ、安心・安全な街づくりに貢献します。また、発電時に発生する廃熱を有効に活用することでエネルギーの地産地消を行い、省エネ・省CO₂を達成する、地球環境に優しい街の実現を目指します。



▶ 豊かな緑のランドスケープによる、潤いと賑わいの大規模「大屋根広場」(約1,500m²)

▶ 「ガスコジェネレーション」

◀ &People 多様な働き方 多様な人材の活用

&Global 「ニューヨークマンハッタンハドソンヤード
ロンドンテレビジョンセンター」 ▶

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[Cookie（クッキー）およびアクセスログについて](#)

[サイトのご利用上の注意](#)

© 2020 Mitsui Fudosan Co., Ltd.

| | | | | | |
|----------------|------------|------------------|----------|--------------|--|
| ESG Report TOP | | ESG情報編 | | SDGsと街づくり編 | |
| トップコミットメント | | ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | |
| 価値づくりのあゆみ | | | | | |
| 環境 Environment | 社会 Society | ガバナンス Governance | TOPICS | | |
| | | 第三者保証 | SDGsの関わり | ESG情報一覧表 | |



マンハッタン 日系企業による最大級の開発事業 「55ハドソンヤード」2018年10月竣工

本物件は、マンハッタンにおける最大級の複合開発である「ハドソンヤード」を構成するオフィスビル群のうちの一棟で、マンハッタンでの日系企業によるオフィスビル開発事業の中では、延床面積において過去最大の事業規模（約118,000㎡）となります。地下鉄7番線「34丁目-ハドソンヤード駅」徒歩0分の好立地、ビル正面エントランス側に広がる公園、ビル西側に広がるハドソン川の眺望や、景観を楽しむことができるテラスフロアやテラススペースの設置、LEED認証取得を前提とした環境性能、効率のよいレイアウトを可能とするフロアプレート、またマンハッタンSOHOエリアで19世紀に多用された歴史的建築様式であるキャストアイロン建築のデザインを取り入れた外観などの強みをもつ、最新鋭のオフィスビルです。総事業費は約1,500億円（1ドル=110円）、当社の事業シェアは9割となっています。また、主な入居企業はマンハッタンの中心産業である金融系企業や大手法律事務所です。



▶ ハドソンヤード

ロンドンの街づくり型大規模再開発事業

「テレビジョンセンター再開発計画（第1期）」2018年11月竣工

本再開発計画のエリアは、ロンドン市ウエストエンドから西へ約6km。ロンドンを代表する再開発エリアのひとつです。当社グループは2012年7月に英国公共放送局のBBCから本土地・建物を取得し、開発を推進してきました。2015年6月にBBCから取得した近接の「ホワイトシティプレイス再開発計画」を合わせた敷地面積（約124,000m²）および計画総延床面積（約396,000m²）は、ロンドンにおける日系企業の都市開発としては最大規模になります。開発においては、BBCのスタジオ、オフィスなどとして利用されてきた建物が住宅、オフィス、ホテル、レストラン、シネマなどから構成されるミクストユースの複合施設へ生まれ変わりました。BBC放送局の特徴的で多くの方に記憶されている建物全体の形状や一部ディテールを残しつつ建物デザインに取り入れ、BBC放送局というイギリスの遺産に新たな魅力・価値を創出しています。



▶ 「テレビジョンセンター再開発計画」全体パース

| | | | | | |
|----------------|------------|------------------|--------|--------------|--|
| ESG Report TOP | | ESG情報編 | | SDGsと街づくり編 | |
| トップコミットメント | | ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | |
| ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | | 価値づくりのあゆみ | |
| 環境 Environment | 社会 Society | ガバナンス Governance | TOPICS | | |
| 第三者保証 | | SDGsの関わり | | ESG情報一覧表 | |



日本の近代化をリードした迎賓の地、 日比谷の息づかいを継承する新たな都市機能

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

国賓をもてなす「鹿鳴館」や東洋随一といわれた「帝国ホテル」など、日比谷は明治時代から社交とくつろぎの場として発展し、日本の近代化に大きな役割を果たしてきました。2018年3月29日にオープンした「東京ミッドタウン日比谷」は、現在に息づく歴史と伝統を継承し、“未来志向の新たな体験や価値の創造”を目指しています。

商業施設やオフィスなどで構成された大規模複合施設として、人々が集う広場やイベント空間など多彩な機能を持つ「東京ミッドタウン日比谷」。三井不動産グループが進める“経年優化”の街づくりを実現するために世界トップクラスの制震効率を誇る新世代の制震装置「HiDAX-R」を導入し、国内最高水準の安全性や事業継続性を確保しています。さらに、災害時には約3,000人の帰宅困難者を受け入れ可能にするなど、地域の防災に貢献する機能を備えています。



進化した大人の社交場が、
多様な人材が集まり、新たな産業を生む場に

国内外の名士が交流する場所として歴史を重ねてきた日比谷。そのポテンシャルを新たな産業の創出に活かすため、世界中の多様な文化・感性・才能を持った人材が集結・交流するための社交場へと進化させました。



▶ 日比谷ステップ広場

階段のある直径約30mの円形広場。さまざまなイベントやアクティビティを行うためのスペース。



▶ BASE Q

HALL、KITCHEN、STUDIO、LOUNGE、CAFÉで構成されたビジネス連携拠点として活用するための施設。

昭和に開かれた映画、演劇の聖地に
新たな芸術文化の発信拠点

日比谷は昭和以降、「日比谷公会堂」や「東京宝塚劇場」など劇場・映画館が建ち並ぶエンターテインメントの中心地として名を馳せるようになりました。その伝統を受け継ぎ、地域と連携しながら「芸術文化・エンターテインメントの街」日比谷の情報を発信していきます。



▶ TOHOシネマス日比谷

13スクリーン約2,800席という都心最大級のシネマコンプレックス。



▶ アトリウム

劇場空間を模した3層吹き抜けのアトリウム。エンターテインメントの聖地にふさわしいエントランス。

緑やオープンスペースと街が連続する、心を豊かにする街



日比谷は、商業・ビジネス、文化の街というだけでなく、都心部の貴重な環境資源となっている日比谷公園に隣接し、豊かな緑と潤いを感じることができる街です。

「東京ミッドタウン日比谷」は、隣接する日比谷公園の緑とのつながりに配慮し、植栽には、在来種をベースに公園と同種の樹木を積極的に取り入れ、公園の緑との一体化を図っています。外構部だけでなく、「パークビューガーデン」(6階)や「スカイガーデン」(9階)などの屋上緑化や壁面緑化により約2,000㎡の緑地を創出。また、併せて整備した周辺道路の一部を歩行者専用道路とし、積極的な緑化とベンチなどを各所に配することで、緑豊かな潤いある空間を創出しています。

日比谷公園の緑とのつながり、在来種をベースとした植栽などを配置した新たな緑地の創出により、日比谷エリアの緑のネットワーク化や鳥類などの生息空間のネットワーク化にも寄与しています。



日比谷公園

緑豊かな歩行者専用道路

パークビューガーデン(6階)

壁面・屋上緑化

スカイガーデン(9階)



▶ パークビューガーデン

眼下に広がる日比谷公園の雄大な緑との一体感が感じられる豊かな植栽と水景のあるテラス。



▶ 壁面・屋上緑化

「パークビューガーデン」(6階)から「スカイガーデン」(9階)へと続く壁面・屋上緑化。



▶ スカイガーデン

オフィスの9階スカイロビーに併設の緑に囲まれた空中庭園。



▶ 緑豊かな歩行者専用道路

千代田区道136号を緑豊かな歩行者専用道路に。日比谷公園と同種の樹木を取り入れるなど、公園から続くような緑豊かな歩行空間に。

Voice



新しい何かに出会えるワクワクする街、日比谷をめざしていく

日比谷は色々な魅力が詰まった街です。劇場、映画館、公園からガード下の飲み屋街までたくさんの顔を持ち、コンパクトにまとまっています。ここに「東京ミッドタウン日比谷」が加わることで新しい賑わいと文化の醸成が進むことに期待しています。施設がオープンしてから本格的な街づくりのスタートです。地域と連携しながら人々が回遊する流れをつくり出したい。日比谷に来ればつねに新しい何かに出会える、そんなワクワクする街にしていきたいですね。

三井不動産 日比谷街づくり推進部(現 柏の葉街づくり推進部) 太田 幸一

◀ &Global 「ニューヨーク マンハッタン ハドソンヤード
ロンドン テレビジョンセンター」

&Smart 「柏の葉スマートシティ」 ▶▶

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[Cookie（クッキー）およびアクセスログについて](#)

[サイトのご利用上の注意](#)

© 2020 Mitsui Fudosan Co., Ltd.

ESG Report TOP

ESG情報編

SDGsと街づくり編

トップコミットメント

ESGの考え方

活動報告の開示にあたって

価値づくりのあゆみ

環境

Environment

社会

Society

ガバナンス

Governance

TOPICS

第三者保証

SDGsの関わり

ESG情報一覧表

& Smart

住みやすく、働きやすく、子育てしやすい街を、未来へ

社会的課題を解決する都市の先進モデル「柏の葉スマートシティ」

柏の葉
スマートシティ

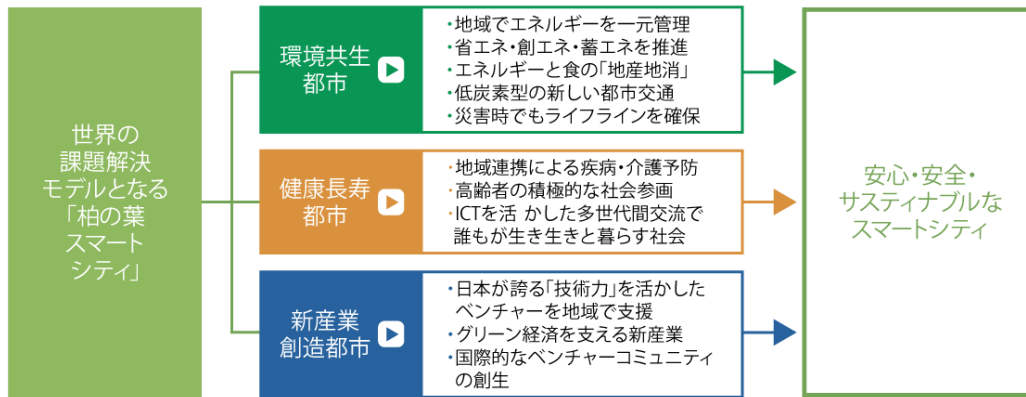
「公・民・学」連携で構築された
持続可能な「世界の未来像」につながる街



三井不動産グループは、環境問題、超高齢化社会、経済停滞などの社会的課題を解決する先進的なモデル都市を「スマートシティ」と位置付け、公・民・学の連携による次世代都市の街づくりを進めてきました。

「柏の葉スマートシティ」は、つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅（千葉県柏市）周辺で2011年から本格的に始動したプロジェクトです。「環境共生都市」、「健康長寿都市」、「新産業創造都市」という3つの社会的課題を解決するためのモデルを提示して、大学や企業・市民など誰もが街づくりに参加できるフラットなプラットフォームを構築。ハード、ソフトの両面から持続可能な「世界の未来像」につながる自律型の街づくりをめざしています。





子どもは未来をつくる力。
共働きが進む社会で、安心して子育てできる街



2018年2月から入居を開始した「パークシティ柏の葉キャンパス ザ・ゲートタワー ウェスト」は、“子育て世代応援型”の大規模賃貸マンションです。仕事と家庭を両立したい子育て世帯が直面する待機児童問題や共働き世帯の子育て環境整備といった社会的な課題に対する解決策の1つとなるマンションをめざしました。建物内・敷地内には保育園や学童保育施設のほか、小児科クリニックや病児・病後児童保育施設等が入居し、共働きでも安心して子どもを育てられる環境を整備しています。

共働き世帯をサポートする「チコル☆保育園」と「チコル☆アフタースクール」

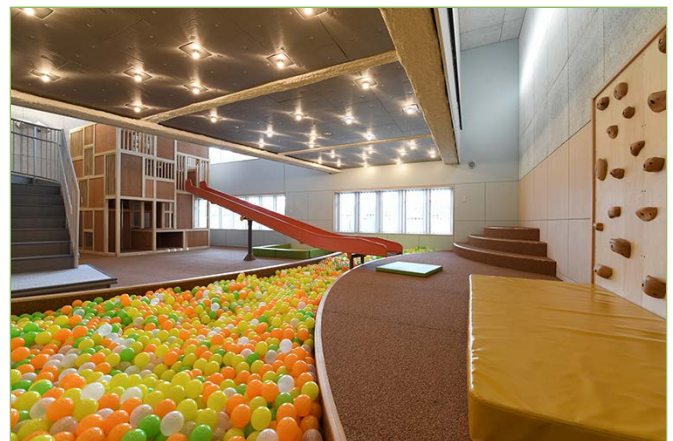
「チコル☆保育園」は、通常の営業時間に加えて、一時保育や22時までの夜間保育に対応する認可外保育園です。「チコル☆アフタースクール」は、小学生を対象とした学童保育施設で、国際社会で活躍できる人材育成をめざします。

子どもを見守りながら仕事ができる「チコル☆パーク」と「チコル☆ワーク」

子どもを見守りながら仕事ができる屋内プレイランドです。「チコル☆パーク」には子どもが楽しめるさまざまな遊具が設置され、保護者が安心して仕事ができるスペース「チコル☆ワーク」が設けられています。



▶ 「チコル☆保育園」



▶ 「チコル☆パーク」

年中無休、夜間・休日も安心の小児科クリニック

365日年中無休で夜間・休日診療にも対応する小児科医院「キャップスクリニック柏の葉」。隣には病児・病後児保育施設「オハナ☆キッズケア」が併設されています。



▶ 「キャップスクリニック柏の葉」

「キャップスクリニック柏の葉」は、米NPO法人セサミワークショップの小児科・小児歯科向け教育プログラム「セサミストリートクリニックメンバープログラム」に加盟しています。

Voice



充実の共用部を備えた課題解決型賃貸マンションを提供します

住民専用の保育園や365日営業の小児科などの子育て支援施設の充実のみならず、無料で利用できる天然温泉やフィットネスジム、Wi-Fi完備のスタディールームなど充実した共用施設を用意いたしました。さらに免震構造や万全のセキュリティ、非常時の電力融通など安全・安心面もカバーしたタワー賃貸マンションとなっております。ぜひ一度柏の葉に訪れ、街の雰囲気とともに当マンションの魅力に触れていただきたいと思います。

三井不動産 柏の葉街づくり推進部 佐藤 正宏

| | | | | | |
|-------------------|---------------|---------------------|----------|--------------|--|
| ESG Report TOP | | ESG情報編 | | SDGsと街づくり編 | |
| トップコミットメント | | ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | |
| 価値づくりのあゆみ | | | | | |
| 環境 Environment | 社会 Society | ガバナンス Governance | TOPICS | | |
| | | 第三者保証 | SDGsの関わり | ESG情報一覧表 | |



「スポーツの力」を活用した街づくり

スポーツには「する」「観る」「支える」などの活動を通じて、暮らす人々や働く人々、憩う人々の心身を健康にするだけでなく、新しいつながりを生み出し、コミュニティを活性化する力があります。「都市に豊かさと潤いを」をグループステートメントに掲げ、経年優化的街づくりをめざす当社は、スポーツを魅力的な街をつくる上で重要な要素と捉え、「スポーツの力」を活用した街づくりを推進していきます。

BE THE CHANGE

さあ、街から世界を変えよう。

「BE THE CHANGE さあ、街から世界を変えよう。」というスローガンを掲げ、「発信する」「つなぐ」「受け入れる」というテーマのもと、自らが変化となり、街づくりを起点に、人や地域や社会にいい変化をつくりだし、変えていくことをめざしていきます。

三井不動産スポーツアカデミー for TOKYO 2020

講師に一流のアスリートを招いて、オリンピックとパラリンピックの競技紹介や、体験会を実施するスポーツ教室です。三井不動産が街づくりを進めるエリアの小中学校や「ららぽーと」、「三井アウトレットパーク」など全国の商業施設で開催しています。一流アスリートと直接触れ合う体験を通して、地域に住む子どもたちをはじめ、多くの人たちをつなぎ、街のコミュニティを活性化することで、それをレガシーとして未来に継承していくことをめざしています。



▶ クライミングアカデミー

日本橋シティドレッシング for TOKYO 2020

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催の1000日前となる2017年10月28日から11月29日まで、大会のエンブレムやアスリートの肖像で街を装飾するシティドレッシングを実施しました。「WE MAKE2020」をテーマにアスリートだけでなく、参加型の企画により観る人、支える人なども含めた「みんなで作る東京2020大会」を体感するイベントとして日本橋から東京2020大会を応援しました。



▶ 三井本館のドレッシング



▶ ドレッシングイメージ



三井不動産



東京2020ゴールド街づくりパートナー

三井不動産は、不動産開発における東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールド街づくりパートナーです。

「ゴミの落ちていないキレイな街」の文化を レガシーとして後世に遺す競技会場の美化活動

| | | |
|-------------------------|----------------------|-----------------------------|
| 11 住み続けられる まちづくりを | 12 つくる責任 つかう責任 | 17 パートナーシップで 目標を達成しよう |
| | | |

2017年8月18日・19日の両日、秩父宮ラグビー場で開催された「ジャパンラグビートップリーグ開幕戦」の4試合にて、環境保全活動の一環として、競技会場の美化活動「KEEP THE STADIUM CLEAN」を実施しました。これは、「ゴミの落ちていないキレイな街」の文化を競技会場で育み、街へと波及させながら、後世にレガシーとして遺すことをめざすプログラムです。選手や学生の方々にボランティアとして参加いただき、約19,000人の観客の皆さまに、観戦後のゴミ拾いを呼びかけながら2日間でゴミ袋13,500枚を配布しました。多くの観客の皆さまがゴミ袋を受け取り、活用してくださったことから、他の競技でも同様の美化活動を展開していく予定です。

ソフトレガシー

| | | | |
|--|-----------------|--|----------------|
| | 日本の良さを東京を舞台に魅せる | | スポーツ・健康 |
| | 地方の魅力を発信 | | 障がい者スポーツサポート |
| | 東北発次世代育成サポート | | 誰もが暮らしやすい社会づくり |

競技会場での美化ボランティア活動の事例

① 会場集合



当日の活動についてオリエンテーション。

② 会場美化の呼びかけ開始



来場者にゴミ袋を配布し美化の協力を呼びかけ。出場選手にもお手伝いしていただくことも。



③ ゴミ袋配布終了



予定配布枚数を渡し切って一旦活動が終了。集合写真を撮影。

④ ビジョンで活動を告知



ハーフタイムなどに会場内のビジョンを使い美化活動の協力を呼びかけ。

⑤ 試合後



配布したゴミ袋を活用して積極的にゴミ拾いに協力くださり、観客席は非常にきれいになりました。

Voice



競技会場の美化からゴミの落ちていないキレイな街へ上げたい

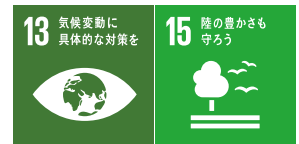
2017年度は「ジャパンラグビートップリーグ開幕戦」に加え、全国8会場計18試合のほか、「日本女子バスケットボールWリーグ」「高円宮杯U-18サッカーリーグ」で競技会場の美化活動を実施しました。いずれも会場でゴミ袋を配布し、美化を呼びかけるボランティア活動ですが、たくさんの観客の皆さまが自席周りだけでなく広範囲でゴミ拾いをされている様子が見られました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてこうした活動が街の美化へと広がり、大会後も文化として定着していくことをめざしていきます。

三井不動産 企画調査部 長崎 智枝美

| | | | | | |
|-------------------|---------------|---------------------|--------|--------------|--|
| ESG Report TOP | | ESG情報編 | | SDGsと街づくり編 | |
| トップコミットメント | | ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | |
| 価値づくりのあゆみ | | ESG情報一覧表 | | 第三者保証 | |
| 環境 Environment | 社会 Society | ガバナンス Governance | TOPICS | | |



北海道で“終わらない森”をつくる



三井不動産グループが北海道の31市町村で保有する森は、約5,000ha（東京ドーム約1,063個分※）に及びます。その6割強はトドマツなどの人工林で、計画的な植林と適切な管理・育成を行っています。また、その森の間伐材や主伐材を建築資材や什器などを使用することで、森の更新を図り、“終わらない森”をつくっています。

なお、残りの4割弱はミズナラなどの天然林で、こちらは最低限の管理にとどめ、自然のままに保全しています。
※東京ドーム約4.7haで計算。



終わらない森を軸とした持続可能な地域社会をつくる

三井不動産および保有林の育成・管理を行っている港工ステート(株)は、北海道下川町と、2017年7月に「終わらない森づくり」を基軸とした持続可能な地域社会創造に係る包括連携に関する協定を締結しました。

- ◆ 森林の持続可能な管理
- ◆ 適正な森林資源を活用した持続可能な消費と生産
- ◆ 森林の多面的機能による気候変動対策・エネルギー確保などを図ります。



▶ 北海道下川町との協定調印式



東京都の水源地の森を守る

東京水道～企業の森

東京都水道局では、将来にわたって多摩川上流の水源地を守るため「みんなでつくる水源地の森実施計画」を策定しています。また、都民や企業など、さまざまな方とともに森づくりを行うことで、水源地保全の重要性についての理解促進を図っています。

三井不動産は、この事業の主旨に賛同し、2017年6月に「東京水道～企業の森（ネーミングライツ）」の協定を締結し、東京都水道局と協働して、グループ社員による森林保全作業体験などを通じ、水源地の森の保全活動を行っています。



水源地の森の保全作業体験

2017～2018年に「三井不動産 & EARTH FOREST TOKYO」（山梨県甲州市）において、三井不動産の社員による森林保全作業体験を実施しました。

植林の準備作業として、2017年11月に地表に散乱した枝や刈払った雑木などを整理する「地ごしらえ」（参加者6人）を行いました。2018年6月には、社員11人が参加して、同地で植林を行いました。



▶ 「地ごしらえ」実施

東京都水道局職員と協働して、散乱した枝や倒木などを拾い集めました。



▶ 「地ごしらえ」作業完了



▶ 「植林」実施

Voice



水資源保全の重要性を改めて感じています

健康な森林には雨水の吸収・蓄えや洪水・土砂災害の防止、地球温暖化の緩和、生態系の保全などの機能があります。東京都水道局との協働を通じて森に足を運び、供給サイドの水に対する取り組みや使命感等に触れることで、水源涵養林の機能の大切さを再認識するとともに、改めて水を使用する者として、節水以外に自らが水資源を守るために何ができるのかを考えています。一人でも多くの社員とこの想いを共有できるように、今後も研修企画を進めていきます。

三井不動産 社会・環境推進室 館野みゆき

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

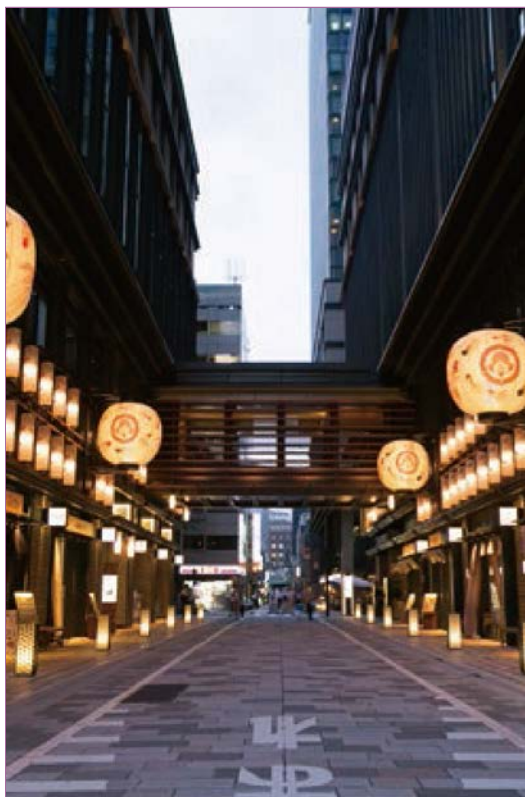
[Cookie（クッキー）およびアクセスログについて](#)

[サイトのご利用上の注意](#)

| | | | | | |
|-------------------|---------------|---------------------|----------|--------------|--|
| ESG Report TOP | | ESG情報編 | | SDGsと街づくり編 | |
| トップコミットメント | | ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | |
| 価値づくりのあゆみ | | | | | |
| 環境 Environment | 社会 Society | ガバナンス Governance | TOPICS | | |
| | | 第三者保証 | SDGsの関わり | ESG情報一覧表 | |



地域コミュニティと一体となり、
 江戸文化と日本橋界隈の魅力を発信する多彩なイベント



三井不動産は、「名橋『日本橋』保存会」や地元団体、企業などを中心に設立された「ECO EDO 日本橋実行委員会」に参加し、日本橋地区の活性化を目的として開催されるイベントを支援しています。江戸時代の人々が大切にしていた共生の精神を今に伝えるとともに、日本橋ならではの新たなスタイルを創造し、その魅力を発信する多彩な催しは毎年継続して行われ、地域への集客や人々の交流、経済効果の波及に貢献しています。

2016年3月から4月にかけて行われた「日本橋桜フェスティバル」は、都心の広域エリアでシティブランディングのイベントを実施したことが評価され、JACE イベントアワード「最優秀経済大臣賞(日本イベント大賞)」を受賞しました。さらに、同年9月から10月にかけて行われた「日本橋熙代祭」で放映された「未来熙代勝覧」がJIAゴールデンキューブ賞視聴覚部門で優秀賞を受賞しました。江戸時代の絵巻物をモチーフに、未来の日本橋にあったらいいものを小学生が描いた映像作品です。



「未来熙代勝覧」
 JIAゴールデンキューブ賞受賞



「日本橋桜フェスティバル2016」
 JACE第3回イベントアワード受賞



▶ 「日本橋桜フェスティバル2017」

多数の桜の名所で知られる日本橋で、デジタル技術によるアートな花見体験や、美食の食べ歩き、宝探し施策などを楽しむ周遊型桜体験イベントです。



▶ 「ECO EDO 日本橋 2017 ~五感で楽しむ、江戸の涼~」

金魚すくいや提灯、浴衣など江戸時代に日本橋で育まれた“涼”をとる生活の知恵や工夫を楽しむイベント。2017年で10回目を迎えました。



▶ 「日本橋現代祭」

老舗や地元企業が一体となり、日本橋の伝統文化や通りの魅力を楽しむ秋祭り。2回目となる2017年は10月20日から11月7日まで開催されました。

「日本一安全な街、日本橋」の実現をめざし、地域の皆さま参加の大規模な体感型防災訓練を実施



一般社団法人日本橋室町エリアマネジメントと三井不動産は、2017年3月7日に体験型防災訓練を実施しました。日本橋は、事業者・就業者・在住者・来街者など、あらゆる立場の方が混在しているエリアのため、施設や事業者ごとの訓練だけでは有事の際に十分な対応が難しいと想定されます。そのため今回の防災訓練は、地元の小学生をはじめ「COREDO室町」や「日本橋三井タワー」の就業者、地域住民の皆さま約1,200人が参加し、日本橋の街をあげて開催されました。防災意識の醸成をはかるため、初の試みとなる大規模地震のVR体験や体感型防災アクションを導入。「日本一安全な街、日本橋」の実現に向けて地域防災力の向上に大きく貢献しました。



▶ 大規模地震発生時のデータを元にしたシミュレーター「地震ザブトン」

実際の大规模地震発生時のデータを元にした激しい揺れをリアルに体験して、備えの重要性を学ぶ小型のシミュレーターです。



▶ 救助・救護・応急手当・搬送訓練

パールや木材等を使った救出方法や、ブルーシートで負傷者を搬送する方法など、実践的な知識や技能を身につける訓練を実施しました。



▶ 老舗店舗「にんべん」による炊き出し

「COREDO室町」に出店している1699年に創業したかつお節の老舗「にんべん」による炊き出しが行われ、約200食のおおさじがふるまわれました。



▶ 日本橋室町エリア防災マップの作成

街を歩いて避難所や消火栓の位置などを確認し、災害時にとるべき行動や避難する際のポイントを地図に書きこみ、防災マップを作成しました。

Voice



イベントをきっかけにたくさんの人に日本橋の魅力を知ってほしい

日本橋の街は、実際に来て、路地を歩き、店に足を運び、人と触れ合ってはじめて本当の良さを実感できる場所だと思っています。一回その良さを実感できれば、行きたい場所・会いたい人が必ずできる街だとも思っていますので、街に足を運んでいただくきっかけをつくるのがとても重要だと考えています。「日本橋桜フェスティバル」では幅広い層の方に来街のきっかけを生み出すイベントとして企画をしています。イベントを通して日本橋の持つ魅力に触れていただければと思います。

三井不動産 日本橋街づくり推進部 坂本 彩

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[Cookie（クッキー）およびアクセスログについて](#)

[サイトのご利用上の注意](#)

| | | | | | |
|-------------------|---------------|---------------------|----------|--------------|--|
| ESG Report TOP | | ESG情報編 | | SDGsと街づくり編 | |
| トップコミットメント | | ESGの考え方 | | 活動報告の開示にあたって | |
| 価値づくりのあゆみ | | | | | |
| 環境 Environment | 社会 Society | ガバナンス Governance | TOPICS | | |
| | | 第三者保証 | SDGsの関わり | ESG情報一覧表 | |



働き方の未来を開く「WORKSTYLINGプロジェクト」が 2017年度グッドデザイン賞を受賞



三井不動産が新しい働き方の実現に貢献するため立ち上げた「WORKSTYLINGプロジェクト／多拠点型シェアオフィスによる働き方変革」が、2017年度のグッドデザイン賞を受賞しました。高齢社会や労働人口減少が進む中で、企業には生産性の向上や多様な人材の活用が求められています。また、長時間労働の是正も課題であるため、これまで以上に効率のかつくりエイティブな仕事を実行していく時代に入ったといえます。

そうした社会的変化に応じて、ワークスペースのさまざまな課題に新しいソリューションを提供する「ワークスタイリング」は、大企業の社員にも多様な働き方を実現するサービスとして高く評価され、今回の受賞につながりました。



働き方を自由に選択できる空間

「ワークスタイリング」は、さまざまな企業の社員が場所や時間に縛られずに利用できるTV会議システムをはじめとする最新機器と高度なセキュリティを備えた法人向け多拠点型シェアオフィスです。2018年6月現在、全国の主要都市に32の拠点を展開し、長距離通勤からの解放や子育て・介護と仕事の両立など、社員が「新しい働き方」を自由に選択できる空間を提供しています。



▶ 「ワークスタイリング FLEX」

また、利用企業の声を受け、2018年度は客数や期間をフレキシブルに選択できる「ワークスタイリング FLEX」、契約法人限定の宿泊機能付きのワークスペース「ワークスタイリング STAY」のサービスを開始しており、働く場をさらに進化させています。



▶ 「ワークスタイリング STAY」

テレワークデイズ企画の実施に

2017年、2018年と継続して「ワークスタイリング」は、テレワークの普及を後押しする「テレワークデイズ」の趣旨に賛同し、「ワークスタイリング」のご利用者様向けに一部施設の開放を実施しました。テレワークの普及と、東京2020オリンピック・パラリンピックを働き方の面でサポートするために行ったもので、今後もサービスの拡充を図っていきます。

お客さま志向につながる従業員の「笑顔の現場」。

まず、自分たちが楽しく働くこと



三井不動産グループは、ホテルや商業施設で接客・サービスにあたる社員および大切なパートナーである従業員の皆さまに、笑顔で楽しく働いてもらうことが、お客さまへのサービス向上につながると思っています。制度や施設を含む、より良い職場環境の整備に努めているのは、ES（従業員満足）を向上させることが、CS（お客さま満足）の向上に通じているからです。

お客さまの満足につながるES向上の推進

全ホテルを対象とした全力対応コンテストの実施や「MGH AWARD」をはじめとする各種奨励制度など、お客さまに満足していただくためのES向上を図り、大きな成果を上げています。



▶ 全力対応コンテスト（三井不動産ホテルマネジメント）



ザ セレスティンホテルズ・三井ガーデンホテルズで働く人々の行動指針をまとめた「CREDO」（三井不動産ホテルマネジメント）

ここで働きたいという気持ちにさせる職場環境づくり



▶ 「アーバンドックららぽーと豊洲」休憩室

「アーバンドックららぽーと豊洲」ほかの商業施設において、従業員が快適に過ごせるように、カフェのような癒しの空間をコンセプトにした従業員休憩室のリニューアルを進めています。今後も、従業員のモチベーションを高める職場環境づくりに注力していきます。



▶ 「ららぽーと新三郷」休憩室



▶ 「ららぽーと新三郷」女性従業員用パウダールーム

Voice



きめ細かいサービスが多様な人材活用と働き方改革につながる

「WORKSTYLINGプロジェクト」はセキュリティ基準や勤怠管理への対応など、大企業に生じやすい特殊な条件にきめ細かく対応したことが、2017年度グッドデザイン賞の受賞につながりました。また子育てや家族の介護をしている社員など、物理的移動の難しい人材を活用する上で効果が期待できることも評価されました。今回の受賞を励みに多様な人材の活用、多様な働き方につながるサービスの充実に努めていきます。

三井不動産 ビルディング本部ワークスタイル推進部 高木 諒平

◀ &Nihonbashi 「日本橋」

&Nihonbashi New 「日本橋室町三井タワー」 ▶

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[Cookie（クッキー）およびアクセスログについて](#)

[サイトのご利用上の注意](#)

© 2020 Mitsui Fudosan Co., Ltd.